

とやま 市議会だより

TOYAMA CITY ASSEMBLY

No.81

令和6年 3月定例会

発行日 令和6年(2024年)5月20日

発行 富山市議会

編集 議会報編集委員会

TEL 443-2158 / FAX 443-2196

ホームページ <https://www.city.toyama.lg.jp/>

メールアドレス gijityousa-01@city.toyama.lg.jp

詳しい情報は、
ホームページをご覧ください。

富山市議会

検索



富山市議会
ホームページ



市立探偵ペロリッ ©TOYAMACITY/DLE

主な内容

議会役員および議会選出役員改選	2
3月定例会の概要、可決した主な議案等	3
5年度3月補正予算等、会派別賛否一覧等	4
委員会・諸会議	5
常任委員会	6
代表質問	8
一般質問	11
6月定例会の日程等	15
アンケート結果、編集後記	16



富山市ファミリーパークは4月で開園40周年を迎えました

就任のあいさつ



議長
横野 昭



副議長
松尾 茂

このたび、議長ならびに副議長に就任いたしました。

本年1月1日に発生した、令和6年能登半島地震では、本市においても震度5強の揺れを観測し、現在でも市民生活に大きな影響が生じています。市民の安全安心な暮らしを守るため、早期の復旧・復興に向けて、全力を尽くしてまいります。

また、本市では、本格的な少子・超高齢社会への対応やコロナ禍で疲弊した地域経済の回復など喫緊の重要課題が山積しております。

このような課題に対し、今後も市民の皆さまの負託に応えるため、市民生活の安定と福祉の向上に誠心誠意取り組んでまいります。

議会役員 および 議会選出役員 改選

議長 横野 昭 副議長 松尾 茂

◎は委員長 ○は副委員長

(議会改革検討調査会、政務活動費のあり方検討会は座長、副座長)

常任委員会

【予算決算委員会】 ◎成田 光雄 ○泉 英之 (※議長を除く全議員で構成)

総務文教委員会 【予算決算委員会 総務文教分科会】

◎松井 邦人 ○松井 桂将
金岡 貴裕 飯山 勝彦
泉 英之 東 篤
横野 昭 鋪田 博紀
赤星ゆかり

厚生委員会 【予算決算委員会 厚生分科会】

◎久保 大憲 ○岡部 享
柏 佳枝 澤田 和秀
高原 譲 豊岡 達郎
吉田 修 高田 真里
高田 重信

経済環境委員会 【予算決算委員会 経済環境分科会】

◎金谷 幸則 ○藤田 克樹
田辺 裕三 舍川 智也
江西 照康 高道 秋彦
松尾 茂 橋本 雅雄

建設委員会 【予算決算委員会 建設分科会】

◎押田 大祐 ○織田 伸一
大島 満 谷口 寿一
成田 光雄 尾上 一彦
村石 篤 金厚 有豊
柞山 数男

議会運営委員会

◎高田 真里 ○久保 大憲
柏 佳枝 澤田 和秀
高原 譲 松井 邦人
泉 英之 舍川 智也
高道 秋彦 東 篤

議会報編集委員会

◎藤田 克樹 ○飯山 勝彦
澤田 和秀 高原 譲
豊岡 達郎 吉田 修
舍川 智也 東 篤
谷口 寿一 松井 桂将

議会改革検討調査会

◎高田 重信 ○柏 佳枝
織田 伸一 田辺 裕三
久保 大憲 金谷 幸則
押田 大祐 大島 満
谷口 寿一 成田 光雄
尾上 一彦 村石 篤
赤星ゆかり

政務活動費のあり方検討会

◎吉田 修 ○田辺 裕三
金岡 貴裕 飯山 勝彦
豊岡 達郎 岡部 享
江西 照康 大島 満
谷口 寿一 成田 光雄
橋本 雅雄 松井 桂将
鋪田 博紀 赤星ゆかり

富山市監査委員

高道 秋彦 谷口 寿一

富山地区広域圏 事務組合議会議員

金岡 貴裕 澤田 和秀
岡部 享 高道 秋彦
谷口 寿一 尾上 一彦
松井 桂将 横野 昭
鋪田 博紀 高田 重信

富山県後期高齢者医療 広域連合議会議員

澤田 和秀 成田 光雄
村石 篤

富山市土地開発公社 理事

藤田 克樹 飯山 勝彦
織田 伸一 豊岡 達郎
谷口 寿一 尾上 一彦

富山市社会福祉審議会 委員

押田 大祐

富山市都市計画審議会 委員

高原 譲 久保 大憲
松井 邦人 江西 照康
東 篤 大島 満

※常任委員会の所管事項等は
こちらからご確認いただけ
ます。



令和6年3月定例会の概要

総額3,596億余円の令和6年度予算決まる。

令和6年3月富山市議会定例会は、2月28日から3月22日まで24日間の会期で開かれました。令和6年度富山市一般会計予算などの予算案件、令和5年度補正予算案件、条例案件、契約案件、意見書等について審議し、合わせて118議案が原案のとおり決まりました。

定例会の日程

2月28日	本会議（提案理由説明ほか）
3月4日	本会議（代表質問）2会派
3月5日	本会議（代表質問）2会派（一般質問）3人
3月6日	本会議（一般質問）6人
3月8日	本会議（一般質問）6人
3月11日	本会議（一般質問ほか）3人 予算決算委員会（前期全体会・補正分、当初分）
	常任委員会・分科会（補正分）
3月12日	予算決算委員会（後期全体会・補正分） 本会議（補正分の委員長報告・討論・採決）
3月13日	予算決算委員会分科会（経済環境）・経済環境委員会
3月14日	予算決算委員会分科会（厚生）・厚生委員会
3月15日	予算決算委員会分科会（建設）・建設委員会
3月18日	予算決算委員会分科会（総務文教）・総務文教委員会
3月19日	予算決算委員会（後期全体会・当初分）
3月22日	本会議（当初分の委員長報告・討論・採決ほか）



提案理由説明の様子

令和6年度の予算規模（当初）

	令和6年度	令和5年度	対前年度比較
一般会計	1,758億1,121万8千	1,672億5,139万5千	105.1
特別会計	1,363億3,129万2千	1,408億1,27万4千	96.8
企業会計	475億5,521万2千	460億5,979万8千	103.2
合計	3,596億9,772万2千	3,541億1,246万7千	101.6

可決した主な議案

○令和6年度の予算等

■予算案件

主な事業【重点施策別】

コンパクトシティ政策の深化とスマートシティの推進
・西富山駅アクセス改善事業 ・路面電車利用環境改善事業 ・スマートシティ推進プロジェクト創出事業
地域振興・コミュニティの活性化と安全安心なまちづくりの推進
・移住者受入促進事業 ・避難行動分析調査事業 ・空家総合相談窓口運営事業
ゼロカーボンシティの実現に向けた取組と産業基盤の強化
・子育て支援省エネ設備等導入補助事業 ・地域循環型生ごみ堆肥化モデル事業 ・EVバス導入事業

少子化対策・子育て支援と次世代を担う人づくりの推進
・こどもまんなか推進事業 ・こどもインフルエンザ予防接種費助成事業 ・校内サポートルーム設置事業
介護・フレイル予防と健康寿命の延伸
・健康づくり拠点整備事業 ・がん患者用補正具購入費用助成事業 ・带状疱疹 ^{ほうしん} 予防接種費



保育園児が色とりどりの手形を押して作成した「こどもまんなか」PR看板

■条例案件

- 政治倫理の確立のための富山市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例制定の件
- 富山市保育所条例の一部を改正する条例制定の件
- 富山市コミュニティバス条例の一部を改正する条例制定の件
- 富山市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件

○令和5年度の3月補正予算等 (円)

	補正前	補正額	補正後
一般会計	1,860億2,462万6千	72億5,460万2千	1,932億7,922万8千
特別会計	1,423億7,075万5千	▲7億5,172万1千	1,416億1,903万4千
企業会計	463億2,982万8千	8,927万1千	464億1,909万9千
合計	3,747億2,520万9千	65億9,215万2千	3,813億1,736万1千

■予算案件

○5年度富山市一般会計補正予算

- ・物価高騰支援給付金
- ・農地農業用施設災害復旧設計業務委託料（5年大雨）
- ・市道整備事業費（金屋線外）
- ・橋りょう維持補修事業費（小見橋1号架替工事等）
- ・中学校学校施設整備事業費（堀川中学校グラウンド整備工事）

○5年度富山市企業会計補正予算（2会計）

■契約案件

○工事請負変更契約締結の件

- ・小見橋1号仮橋設置工事



排水性の向上を図る工事が予定されている堀川中学校グラウンド（降雨後）の様子

意見書

次の意見書を可決し、国会および関係行政庁などへ提出しました。

意見書とは、市の公益に関することについて議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書（議員提出議案第1号）	厚生労働大臣 他6件へ提出
若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策の強化を求める意見書（議員提出議案第2号）	厚生労働大臣 他5件へ提出
地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の一層の推進を求める意見書（議員提出議案第3号）	経済産業大臣 他5件へ提出

請願

審議された結果は、次のとおりです。

市政への要望・意見等がある場合に、市議会に提出する文書のうち、議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情といいます。

「消費税率を5%に戻しインボイス制度の廃止を求める意見書」の提出を求める請願	不採択
--	-----

議案・意見書・請願の会派別賛否一覧

賛否が分かれた議案等については、次のとおりです。

表中の見方：「○」＝賛成 「×」＝反対 「―」＝退席 ※会派人数は、議長を除いたもの。

件名	議決結果	富山市議会 自由民主党 (14人)	自由民主党 (8人)	公明党 (3人)	立憲民主 市民の会 (3人)	会派 誠政 (2人)	日本共産党 (2人)	気魄 (1人)	政策フォー ラム32 (1人)
議案 第1号 令和6年度富山市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○
議案 第13号 令和6年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計 予算	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○
議案 第80号 令和5年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計 補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○
議案 第107号 富山市監査委員の選任に関し同意を求める件	同意	13人○ 1人―	○	○	○	○	×	―	○
議員提出議案 第1号 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	原案可決	○	×	○	○	×	×	×	○
議員提出議案 第2号 若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対 策の強化を求める意見書	原案可決	○	×	○	○	×	○	×	○
議員提出議案 第3号 地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循 環経済）の一層の推進を求める意見書	原案可決	○	×	○	○	×	○	×	○
令和6年分 請願第1号 「消費税率を5%に戻しインボイス制度の廃止を 求める意見書」の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	○	×	×

全ての議案に対する議員個人ごとの賛否の一覧表を富山市議会のホームページに掲載しています。
また、本会議で、賛成討論・反対討論があったものについて、一覧表の中に討論の要旨も掲載しています。▶



委員会・諸会議

定例会中の本会議や常任委員会のほかにも、委員会等を開催し、市政についての課題や、議会改革などについて協議しています。

日付	委員会等	協議事項等
1月11日	富山市議会災害対策会議	・令和6年能登半島地震に対する市当局への要望等
26日	議会運営委員会	・3月定例会の運営
	各派代表者会議	・議員の請負の状況の公表に関する条例（案） ・令和6年能登半島地震への対応に関する要望（中長期）（案）
30日	政務活動費のあり方検討会	・クレジットカード ・広報広聴費
2月14日	各派代表者会議	・議員の請負の状況の公表に関する条例施行規程（案） ・富山市議会会議規則等の一部改正 ・卒業式・卒園式への出席 ・令和6年能登半島地震への対応に関する要望（中長期）（案） ・令和6年度議会費当初予算（案）
	政務活動費のあり方検討会	・クレジットカード
15日	経済環境委員会	・くすり関連施設
21日	議案説明会	・3月定例会提出予定案件の概要
	厚生委員会	・生活保護基準引下げ違憲処分取消等請求事件 ・富山市高齢者総合福祉プラン（高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画）（案）
28日	各派代表者会議	・富山市議会会議規則等の一部改正 ・卒業式・卒園式への出席 ・人事案件
	議会報編集委員会	・とやま市議会だより（No.81）
29日	議会運営委員会	・3月定例会の運営 ・富山市議会会議規則等の一部改正
3月 6日	議会運営委員会	・追加議案
8日	委員長会議	・議案等の委員会付託
11日	議会運営委員会	・会派から提出された意見書（案）・決議（案） ・富山市議会会議規則等の一部改正
	各派代表者会議	・役員改選
15日	議会運営委員会	・追加議案 ・意見書・決議 ・富山市議会議員の請負の状況の公表に関する条例 ・議員派遣の件
22日	議会運営委員会	・本会議の進め方
	委員長会議	・当初予算等の委員会審査結果の確認
	予算決算委員会	・正・副委員長（座長）の互選ほか
	総務文教委員会	
	厚生委員会	
	経済環境委員会	
	建設委員会	
	議会運営委員会	
	議会改革検討調査会	
	議会報編集委員会	
	政務活動費のあり方検討会	
4月 4日	議会報編集委員会	・とやま市議会だより（No.81）の発行

常任委員会 (予算決算委員会)

5つの常任委員会において、付託された議案などを審査し、12日、22日の本会議では、各委員会の審査の概要と結果が報告されました（各分科会の報告は12日、19日の予算決算委員会）。本紙では、その内容の一部を掲載します。

予算決算委員会

5年度富山市一般会計補正予算、6年度富山市一般会計予算など38件については、いずれも原案のとおり「可決」、「承認」した。

総務文教分科会

5年度富山市一般会計補正予算、6年度富山市一般会計予算など8件について、審査した。

学校施設整備事業費（当初分）

委員 小中学校への空調設備の設置を検討するために調査を実施するとのことだが、調査範囲や調査期間はどのように考えているのか。

市 6年度当初予算では、体育館と特別教室の両方に空調設備を設置するための検討業務委託料を計上している。本業務委託において、各学校の電気設備や体育館の断熱工事等にかかる費用を算出し、今後の設置方法について検討するための基礎データの収集を行いたいと考えている。データ収集作業には1年はかかる見込みであり、7年度の早い段階で具体的な整備の検討を行い、最速で8年度から設置に着手していきたいと考えている。

委員 体育館と特別教室への空調設備の設置は同時に進めていくのか。

市 空調設備の設置を別々に行う場合と、同時に行う場合の費用を試算した結果によって検討したいと考えており、基礎データの収集をまずは行いたいと考えている。

【その他の主な審査の概要】

- ・報告第2号 専決処分について承認を求める件「展覧会開催事業費（補正分）」について、質疑があった。
- ・議案第1号 令和6年度富山市一般会計予算「管理運営事務費（当初分）」について、質疑があり、「企画事務費および展覧会開催事業費（当初分）」について、意見の表明があった。

厚生分科会

5年度富山市一般会計補正予算、6年度富山市一般会計予算など14件について、審査した。

生活困窮者自立支援事業費（当初分）

委員 複雑な課題を抱える生活困窮者に対し、専門的かつ伴走的な就労準備の支援を行う体制を整備するとのことだが、複雑な課題とはどのようなものなのか。

市 身体的には就労することが可能な状態であっても、他者とのコミュニケーションがうまくとれない、決められた時間に行動できないなど、社会生活を営んでいく上で必要となる基本的な生活習慣に対しての課題と認識している。

委員 専門的かつ伴走的な就労準備の支援とは、具体的にどのようなことを行うのか。

市 相談者の状況に応じて、段階別に支援していくことを考えている。

1段階目として、適度なコミュニケーション能力を習

得する場としてのセミナーの開催や、暮らしを安定させるための病院受診の同行など、日常生活に関する支援、2段階目として、社会的能力形成のための就労体験などの支援、3段階目として、一般の就労に向けた技能や知識の習得等を促す就労自立支援や、就職に向けたサポート、就職後の職場定着に向けた支援など、相談者の状況に応じて、さまざまな支援を組み合わせることを考えている。

経済環境分科会

5年度富山市一般会計補正予算、6年度富山市一般会計予算など17件について、審査した。

市末利用地におけるオフサイトP P A事業に係る債務負担行為の設定（当初分）

委員 本事業では、P P Aにより太陽光発電設備を設置し、本庁舎等の公共施設に送電するとのことだが、設置後の設備の所有権や管理責任は誰にあるのか。

市 P P A事業では、20年間の契約期間終了後は設置された設備は無償譲渡となるのが一般的だが、今後、仕様書を作成するにあたり、所有権や管理責任の条件についても併せて検討したいと考えている。そのことが市の末利用地を活用する上で適切であるのかについても検討していきたいと考えている。

委員 設備が損傷した場合の管理責任や契約期間の途中で事業が中止になった場合の違約金の内容について、市の負担とならないスキームとなるよう検討を進めていただきたい。

【その他の主な審査の概要】

- ・議案第80号 令和5年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第3号）（補正分）について、意見の表明があった。
- ・議案第13号 令和6年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計予算（当初分）について、意見の表明があった。

建設分科会

5年度富山市一般会計補正予算、6年度富山市一般会計予算など11件について、審査した。

液状化対策検討事業（当初分）

委員 道路と宅地等が一体となった面的な液状化対策の必要性について検討を行うとのことだが、対象地域や、検討内容について、どのように考えているのか。

市 場所は、東蓮町を想定している。

道路は公共施設であり、宅地等は個人の財産であるが、それぞれ別々に対策を検討するのではなく、一定のエリアについて、道路と宅地等を一体とした面的な対策を行うことを検討する。

なお、本市では液状化対策の経験がないことから、検討にあたっては、他都市の事例等を参考にしたいと考えている。

総務文教委員会

富山市市税条例の一部を改正する条例制定の件、政治倫理の確立のための富山市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例制定の件など6件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

【所管部局からの報告事項】

○企画管理部

- ・令和6年4月行政組織の一部改正
- ・富山市立小・中学校の跡地利活用に関する基本方針
- ・富山市シティプロモーション推進指針の策定
- ・富山市立富山外国語専門学校あり方検討懇話会の提言

○教育委員会

- ・第3期富山市教育大綱・第3期富山市教育振興基本計画
- ・富山市八尾化石資料館の廃止
- ・富山市科学博物館展示更新計画

○財務部

- ・旧大長谷出張所等の解体の取り止め
- ・富山市市税条例の一部改正（案）
- ・令和6年度固定資産税の評価替え

厚生委員会

富山市大沢野健康福祉センター等の指定管理者の指定の件、富山市保育所条例の一部を改正する条例制定の件など34件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

【所管部局からの報告事項】

○病院事業局

- ・富山市病院事業経営強化プラン
- ・富山市病院事業経営改善計画
- ・5年度における本市病院事業のあり方検討
- ・ハイブリッド手術室の整備の取りやめ

○福祉保健部

- ・富山市地域福祉計画（令和6年度～令和10年度）の策定
- ・第7期富山市障害福祉計画・第3期富山市障害児福祉計画の策定
- ・富山市健康プラン21（第3次）の策定

○こども家庭部

- ・令和6年度富山市少子化対策推進戦略
- ・第7期富山市障害福祉計画・第3期富山市障害児福祉計画の策定

○市民生活部

- ・富山市町内会アンケート調査の結果

経済環境委員会

富山市新産業支援センターの指定管理者の指定の件、富山市漁港管理条例及び富山市風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部を改正する条例制定の件など13件については、いずれも原案のとおり「可決」、「承認」した。

【所管部局からの報告事項】

○環境部

- ・富山市水道事業給水条例等の一部を改正する条例制定の件（富山市地域し尿処理施設に関する条例の一部改正）

○商工労働部

- ・第2期富山市工業振興ビジョン第1次改訂
- ・牛岳温泉スキー場及び周辺施設再整備基本構想の概要

○農林水産部

- ・富山市水道事業給水条例等の一部を改正する条例制定の件（富山市農業集落汚水処理施設条例の一部改正）
- ・富山市公民館条例及び富山市農村環境改善センター等条例の一部を改正する条例制定の件

建設委員会

城址公園及び富山市営城址公園駐車場の指定管理者の指定の件、富山市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件など12件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

【所管部局からの報告事項】

○消防局

- ・富山市手数料条例の一部を改正する条例制定の件

○上下水道局

- ・契約金額1億5,000万円以上の工事請負契約

○建設部

- ・訴えの提起の結果

○活力都市創造部

- ・富山市総合交通計画の策定

6ページから7ページの報告の内容（質疑、討論、意見の表明を含む）につきましては、富山市議会ホームページ「会議録等の公開」からご覧いただけます。



◀委員会等の審査の概要と結果

富山市議会自由民主党

鋪田 博紀



呉羽山断層帯地震への備え

問 震度7クラスの地震があった場合、市民をどうするの^{きょうりゅう}か、市長の決意は。

答 学校や橋梁、下水道施設の耐震化など平素から公助の取り組みを着実に進めるとともに、有事の際には消防、警察、自衛隊など人命救助を第一線で担う機関と円滑に連携が取れるよう、日頃から訓練等を通じた顔の見える関係を築いておく必要があると考えている。また、地域における防災力の充実強化が極めて重要になるため、地域防災力の中心を担う自主防災組織の育成と地区単位での活動の広がりが大切であると認識している。一方で、大規模災害時には、被災自治体だけでの対応にも限界があることから、あらかじめ他自治体や本市と災害協定を締結している民間事業者との連携を深める等、災害に強く回復力のあるまちづくりに市一丸となって全力で取り組んでいきたい。(市長)

当初予算

問 予算編成の基本方針と財源を重点的に配分した施策について、見解は。

答 財政の健全性を堅持するため、市税等の一般財源の確保に努め、新たな市債の発行をできる限り抑制するとともに、聖域なき歳出の抑制を図り、見込み得る一般財源の範囲内で予算の重点的・効率的な配分に努めることを基本とした。その上で「人・まち・自然が調和する活力都市とやま」の実現を目指すため5項目の重点施策①コンパクトシティ政策の深化とスマートシティの推進②少子化対策・子育て支援と次世代を担う人づくりの推進③地域振興・コミュニティの活性化と安全安心なまちづくりの推進④介護・フレイル予防と健康寿命の延伸⑤ゼロカーボンシティの実現に向けた取組と産業基盤の強化ーを設定するとともに、「子育て日本一とやま特別枠」および「部局主導裁量枠」の2つの特別枠を設定し、財源を重点的に配分した。(市長)

不登校対策

問 「学びの多様化学校」の設置の可能性に関する調査の結果を踏まえ、今後どのように事業を進めていくのか。

答 調査により、不登校の児童生徒を支援するための新たな学びの場が必要であるとの結果が得られたことから、6年度には、「学びの多様化学校」の設置に関する具体的な検討を進めたいと考えている。

作業の主な内容としては①施設形態②受け入れ対象とする年齢や学校の規模③既存の公共施設や統合により廃止となった小学校などの活用可能な施設ーについて調査

し、類型ごとに必要となる事業費の積算を行うこととしている。その後、市として「学びの多様化学校」の設置についての意思決定を行い、国への認可申請、施設整備や教職員の確保、入学を希望する児童生徒や保護者への説明会の開催等、開校に向けた準備を進めていきたいと考えている。(教育長)

病院事業

問 地域住民に安心・安全で良質な医療を提供することが必要不可欠と考えるが、病院事業を今後どのように進めるのか。

答 富山市病院事業中長期計画や経営改善計画による経営の改善や効率化等を継続するとともに、総務省のガイドラインに基づき5年度に策定する「富山市病院事業経営強化プラン」に沿って、持続可能な地域医療提供体制を確保するための取り組みを進めたいと考えている。医療圏の中核病院として急性期医療を担う市民病院と、後方連携病院として回復期医療を担うまちなか病院との連携によるシームレスな医療提供体制を維持し、市民の命と健康を守る医療を提供し続ける体制をしっかりと構築していくことが責務であると考えている。経営の改善はもとより医療の質の向上を図り、豊かな地域づくりに貢献できるよう取り組みたい。(病院事業管理者)

家庭ごみの有料化の推進

問 「廃棄物対策課」を新設し、一般廃棄物対策とごみの減量化推進を担う意図は。また、家庭ごみ有料化に向けた意気込みは。

答 現在、家庭などから排出される一般廃棄物と、事業所から排出される産業廃棄物は、担当課が分かれている。6年度の組織改正により、廃棄物に関する事務を一元化し、廃棄物全般にわたる施策の企画立案体制を強化するとともに、廃棄物の減量化や資源化、適正処理や不法投棄対策などを総合的に取り組むため、「廃棄物対策課」を新設することとした。

家庭ごみ有料化は、国が国全体で取り組むことを推進された結果、導入済み自治体は全国の65.9%に及んでいる。6年度当初予算案には、家庭ごみ有料化に関する市民参加型のワークショップや啓発イベントの開催に係る経費を提案しており、その必要性や他都市の事例などを示して市民の皆さまに理解を深めていただきたい。(市長)

居住推進事業

問 空き家・空き地の増加が見込まれる中、まちなかおよび公共交通沿線への居住推進をどのように進めていくのか。

答 居住推進事業では、本市での空き家や空き地の増加が顕著であることを踏まえ、空き家の前段階である中古住宅の流通促進、空き家の解消や利活用促進、低未利用地の流通や活用促進などの新たな視点を盛り込むとともに、より効果的なインセンティブとなるよう補助内容や要件などの見直しを進めたいと考えている。

公共交通沿線の既成市街地では、古くからの住宅地の中に幅員の狭い道路や形状がいびつで再建築が困難な敷地が多いことから、不動産の流通が停滞し住宅の更新が進まない状況にあることが、居住誘導を阻害する原因の一つになっている。既成市街地の現状や他都市の整備手法等を踏まえ、本市の特性にあった市街地整備手法や支援制度を検討したい。（活力都市創造部長）

【質問項目】

▼令和6年能登半島地震 ▼地震時における避難
▼被害を受けた中小企業や小規模事業者への支援
▼農業・漁業に関する被害 ▼災害復旧と対策
▼被害者への公営住宅などの確保 ▼地震発生時の消防行政
▼呉羽山断層帯地震への備え ▼市長の市政運営
▼スマートシティ政策 ▼当初予算 ▼不登校対策
▼いじめ対策 ▼フレイル予防と健康づくり
▼第9期介護保険事業計画 ▼福祉人材の確保
▼少子化対策の実現に向けた取り組み
▼自治振興会や町内会などの自治組織への活動支援 ▼病院事業
▼地球温暖化対策 ▼家庭ごみの有料化の推進
▼工業振興ビジョンの改訂と新たな企業団地の候補地
▼くすり関連施設の整備 ▼J R 高山本線の活性化
▼居住推進事業 ▼屋外広告物事業 ▼上下水道事業
▼消防艇の更新

自由民主党

江西 照康



令和6年能登半島地震の震災

問 ブロック塀等の公費撤去について、当初、市民からの問い合わせに対応できないと答えた経緯と結果的に間違った回答がなされたことについて問う。

答 元日の発災後、直ちに関連施設等の被害状況の確認や情報収集を行い、翌2日から電話対応にあたった。1月4日の時点では、ブロック塀等の倒壊の問い合わせに、「専門業者でないと処理できないため業者に依頼して処分してほしい」と案内していたが、現地を確認し被災状況を鑑みて、市独自の支援の検討を始めていたところ、1月11日に国が能登半島地震を激甚災害および特定非常災害と指定し、倒壊あるいは傾いたブロック塀等も国庫補助による解体撤去が可能となったことから、直ちに撤去費等に係る予算を計上し、1月16日に専決処分を行い、ブロック塀や石灯籠等について市が直接または委託により処理するものの他、既にご自身で撤去された費用も補助することとした。（環境部長）

市街化調整区域や中山間地など周辺地域の活性化

問 居住誘導施策の一環として、農地付き住宅取得に積極的に取り組むべきと考えるが、見解は。

答 農業に興味を持つ方に、空き家などの住宅と農地を併せて「農地付き空き家」として情報発信することは、定住人口等の維持・増加だけでなく、空き家の解消につながる取り組みとして有効な方策の一つである。今後、空き家対策を進める観点からも、農地付き空き家

を求める方と手放したい方を円滑にマッチングする方法等について調査・研究していきたい。（活力都市創造部長）

くすり関連施設整備事業

問 本施設における費用対効果をどのようにもくろむのか、また、多くの市民に歓迎される施設となり得るのか。

答 集客性のある施設とすることはもとより、未来を担う世代に薬業の魅力を知ってもらえるよう「くすりの富山」の歴史等を学習する場としての側面もあるため、来館者数や小中高校生の見学者数等のKPI^(※)の設定による費用対効果の測定を想定しているが、収益等で計れない要素もある。実施予定の民間活力導入可能性調査の結果を踏まえ、費用対効果も含めて望ましい施設の整備・運営形態について検討することとしており、市民に歓迎される魅力ある施設となるよう市民や薬業界等の意見も聞きながら事業を進めたい。（商工労働部長）

※KPI…重要業績評価指標

【質問項目】

▼令和6年能登半島地震の震災 ▼医師の働き方改革への対応
▼市街化調整区域や中山間地など周辺地域の活性化
▼市営住宅のLED化 ▼農業への取り組み
▼くすり関連施設整備事業 ▼市職員の確保
▼スマートシティの推進 ▼今後の富山市の向かうべき方向性

立憲民主市民の会

村石 篤



避難所運営等

問 令和6年能登半島地震で、本市が開設した避難所のうち最も早く開設した時刻と最も遅く開設した時刻は。

答 地震発生から8分後の16時18分に全地区センター班要員へ第1次避難所開設を指示し、開設時刻は最も早い避難所で16時20分、最も遅い避難所で19時53分だった。なお、1時間以内に開設した避難所は50カ所で全体の半数を超え、開設までの平均時間は58分だった。年末年始の長期休暇中に発生したことを考えると、対応はおおむね良好だったと認識している。一方、開設が最も遅くなった避難所は、地区センター班要員が安全点検したところ、天井の破損が確認されたため代替の避難所の選定や開設に時間を要したものである。(防災危機管理部長)

【質問項目】

- ▼政府の6年度地方財政対策の概要を受けた本市の対応
- ▼避難所運営等 ▼男女共同参画の推進 ▼富山市保育所等
- ▼ひとり親家庭の子どもに対する学習支援の拡充
- ▼水道管路の耐震化の考え方 ▼富山市職員の働き方

政府の6年度地方財政対策の概要を受けた本市の対応

問 国は6年度から3年間で集中して取り組む「こども・子育て支援加速化プラン」を示したが、本市における「加速化プラン」の施策への対応は。

答 「加速化プラン」に盛り込まれた施策のうち児童手当は、支給期間を高校生年代までに延長されること等から12月支給分より遅滞なく支給できるよう準備を進めていく。次に、保育所における4、5歳児の保育士配置基準は30対1から25対1へ改善され、それに対応する加算措置を設けるとされており、本市の市立施設は25対1の職員配置ができる見込みである。なお私立施設は、新たな公定価格の加算の詳細が国から示された後、配置基準の改善に向け予算措置等の対応をしたい。また、出産・子育て応援事業の伴走型相談支援と経済的支援は、今後の国の動向を注視し引き続き実施したいと考えている。最後にヤングケアラー等に対する支援は6年度から新たに「子育て世帯訪問支援事業」を実施する中で、当該児童の負担の軽減・解消を図りたい。(市長)

公明党

松尾 茂



災害に強い富山市の構築

問 道路の陥没対策における現在の状況および今後の取り組みは。

答 市では平成26年度から、幹線道路や緊急輸送道路などについて、道路の路面下の空洞調査を実施してきた。4年度末までに延べ289路線、延長約287キロメートルについて調査を実施したところ、529カ所で異常信号が検出され、うち61カ所では空洞の想定深さが路面から20センチメートル未満と非常に浅く、陥没の危険性が高いとされる「陥没危険度Aランク」に該当していたことから、応急修繕を実施してきた。また、5年12月に市道草島東線などの8路線について調査を実施し、1カ所がAランクとなっている。こうした中、1月に令和6年能登半島地震が発生したことから、同一路線について再調査を実施したところ、状態の変化などは確認されなかったが、地震の影響が危惧された他の路線で危険な箇所が新たに確認されたことから、速やかに対応を行っている。市では、おおむね3年から5年サイクルで空洞の再調査を実施する計画としており、引き続き道路の安全性の確保に努めたい。(建設部長)

誰もが安心して暮らせる社会の取り組み(学校教育)

問 部活動の地域移行について、児童生徒を対象としたアンケート調査の結果をどのように分析しているのか。

答 アンケート調査については、市内の小学5、6年生と中学1、2年生を対象に実施し、休日における地域クラブ活動への期待や気になっていることを中心に調査した。地域クラブでの活動に参加したいと考えている児童生徒の理由として、より専門的な指導を受けたいなど、自己の技能の高まりを求めている児童生徒がいる一方、他の中学校の生徒の技能のレベル等についていけるかが不安であるなど、地域クラブの参加に消極的な児童生徒も一定数いることが明らかとなった。市教育委員会として、このアンケート調査の結果を関係機関等と共有し、より良い地域移行の在り方を引き続き検討していきたい。(教育長)

【質問項目】

- ▼災害に強い富山市の構築 ▼物価高から生活を守る経済対策
- ▼こどもまんか社会の実現に向けた取り組み
- ▼誰もが安心して暮らせる社会の取り組み
- ▼スマートシティ推進ビジョンの着実な推進

一般質問

18人の議員が一般質問を行いました。その中から一部の質問・答弁の要旨をお知らせします。
議員名の横のコードを読み込むと、インターネットで一般質問の様子を閲覧できます。

観光・交流のまちづくり

高田 重信（富山市議会自由民主党）



問 北陸デスティネーションキャンペーン^(※)等を生かして誘客を図る取り組みは。

答 北陸新幹線の敦賀延伸によりアクセスが向上する中京圏や関西圏をターゲットとし、誘客を図ることが重要であると考えている。

今夏には、人流が多くPR効果の高い大阪駅において金沢市・福井市と連携したPRイベントを行うとともに、今秋には、県内5市町村による大阪市での共同PRを実施する予定である。キャンペーンによる盛り上げを一時的なものとし、県や周辺都市等と連携しながら観光客の誘致拡大に努めたい。（商工労働部長）

【質問項目】

▼第2次富山市総合計画後期基本計画の「ネクストステージ重点プロジェクト」
▼防災介助士の普及 ▼地震被害の対応 ▼観光・交流のまちづくり
▼ガラスの街とやまに関する広報活動 ▼多文化共生のまちづくりの推進

※北陸デスティネーションキャンペーン…JR6社と北陸3県等による日本最大規模の観光キャンペーン

大型農地整備

押田 大祐（自由民主党）



問 6年度取り組む「未来の農業担い手育成プロジェクト事業」の内容は。

答 全国初の次世代農業促進型として水橋地区で進められている国営農地再編整備事業を、子どもたちに実際に体験してもらうことで、次世代の農業に関心を持ってもらい、将来の農業の担い手を確保することを目指す事業である。具体的には、大区画化された農地の現場見学、スマート農機の実演見学、収穫体験などを行う予定としている。6年度は水橋地区の小学校を対象とし、将来的には、市内全域の小学校を対象にしたいと考えている。（農林水産部長）

【質問項目】

▼災害時における避難所開設 ▼大型農地整備



下水道施設の耐震化

高原 譲（富山市議会自由民主党）



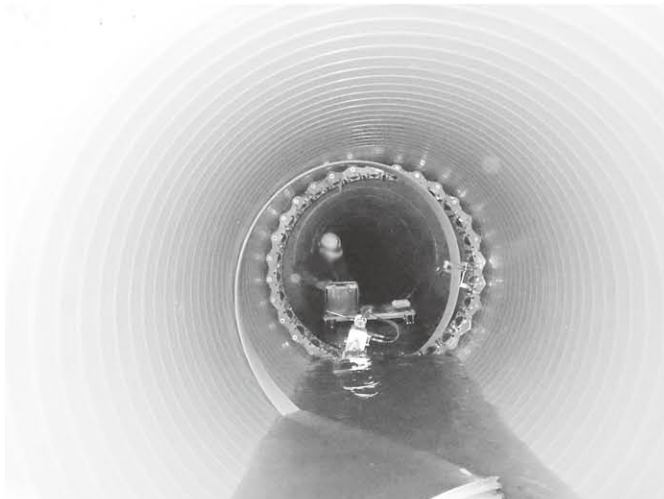
問 令和6年能登半島地震で被災した下水道施設に対する今後の対応は。また、耐震化に向けた取り組みは。

答 被災した下水道施設では、今後テレビカメラを用いた詳細調査が完了した後、国の災害査定を踏まえ、災害復旧事業により詳細設計を経て、敷設替えなどによる機能の復旧を図るよう対応したい。

これまで耐震化を進めてきた施設では被害が確認されておらず、引き続き計画的に耐震化を進めるとともに、事業継続計画の見直しや施設の緊急点検訓練を定期的に行うなど、総合的な地震対策を進めたい。（上下水道局長）

【質問項目】

▼令和6年能登半島地震における他都市への応援 ▼下水道施設の耐震化
▼クマ対策 ▼スマート農業の現状と今後の展開
▼選ばれるまちづくり事業



下水道管の耐震化工事（管更生をしている）の様子

電子回覧板

田辺 裕三（富山市議会自由民主党）



問 電子回覧板を導入している町内会等で、1月の能登半島地震発生時に災害モードに切り替え安否確認等が行われたと聞が、その活用事例は。

答 町内会住民の安否確認や道路等の被害状況の把握など、それぞれの町内会等が電子回覧板で情報発信された。また利用者自らが撮影した被害状況等が分かる写真データを共有された事例もあると聞いている。大規模災害時は、電子回覧板による即時の情報発信で避難者の不安も和らいだと聞き、情報共有ツールとして電子回覧板が有効活用されたと再認識した。（市民生活部長）

【質問項目】

▼電子回覧板 ▼超高齢社会における健康づくり
▼新規事業の「移住者受入促進事業」 ▼地域ふれあい活動支援事業

中山間における小学校の存在意義

泉 英之（自由民主党）



問 学校再編に係る教育委員会の判断は教育分野での一つの提案と位置付け、市長部局が再度協議すべきと考えるが、見解は。

答 これまでタウンミーティング等に出席し、学校再編の対象校がある地域の皆さまのご懸念を聞く一方で、子どもたちに多様な価値観に触れてほしいといった保護者の方々からの声も聞いている。私としては、地域の将来を見据えた学校再編の議論の末に住民の間に新たな一体感が生まれることを期待するとともに、教育委員会だけで対応できないことについては、市長部局も一緒に取り組みたいと考えている。（市長）

【質問項目】

- ▼スマートシティ政策におけるDXの取り組み
- ▼中山間における小学校の存在意義

主体性の育みと教育改革

織田 伸一（富山市議会自由民主党）



問 アルバ・エデュ^(※)の教育プログラムの導入状況と取り組み、その成果は。

答 「主体性のある子どもの育成」の実現に向け、話す力等を育むために4年度から山室小学校を拠点校にアルバ・エデュの教育プログラムを取り入れた。内容はアルバ・エデュ講師による教員研修と子どもたちにプレゼンテーション能力向上を図る授業をするほか、講義等の収録動画を市内全小中学校に配信した。拠点校からは全国学力・学習状況調査の質問紙調査で肯定的な回答が多く見られた等の報告を受けており、引き続き取り組みたい。（教育長）

【質問項目】

- ▼主体性の育みと教育改革
- ▼英語教育

※アルバ・エデュ…公教育への教員研修導入を通じて心理的安全性のある学級経営を助け、一人の子どもも取り残さず「話す力」が高められるよう活動している一般社団法人。

ノーネクタイの推進

岡部 享（立憲民主市民の会）



問 TPOに配慮した一定の基準の下、通年の「ノーネクタイ」の取り組みが環境省や全国の自治体で進められていることから、本市においても推進すべきでは。

答 近年の猛暑等の異常気象に見られるように地球温暖化が一段と進行する中、県内10市のうち7市が勤務時間中における職員のノーネクタイを、4年度または5年度から通年実施しており、県も5年度から開始した。ゼロカーボンシティを表明している本市としては、こうした状況等も踏まえ、職員のノーネクタイの通年実施に向けて、今後検討していきたい。（企画管理部長）

【質問項目】

- ▼富山市民意識調査
- ▼令和6年能登半島地震における課題と自主防災組織の活動
- ▼奥田ビルの現状と今後の対応
- ▼ノーネクタイの推進

防災対策

松井 桂将（公明党）



問 指定避難所におけるマンホールトイレの設置状況と今後の取り組みは。

答 平成28年度よりマンホールトイレの整備を進めており2月現在の整備状況として、まちなか総合ケアセンター、新庄小学校、舞台芸術パーク、倉垣小学校、奥田北小学校、奥田小学校の6カ所に合計52基を整備しており、現在、堀川小学校に10基、整備を進めている。都市マスタープランで定める市内14ブロックに対し、各ブロック1カ所10基ずつを目標として、地域バランスにも配慮しながら計画的かつ着実に整備を進めたい。（防災危機管理部長）

【質問項目】

- ▼防災対策
- ▼高齢者支援（認知症施策）

鉄道駅周辺のまちづくり

飯山 勝彦（富山市議会自由民主党）



問 今後継続して鉄道駅周辺のまちづくりを進めていく必要があると考えるが、見解は。

答 鉄道駅周辺のまちづくりを全市的に進めることは、本市のコンパクトなまちづくりの骨格となる重要な取り組みであることから、水橋駅周辺と速星駅周辺を住居系の土地利用を図る市街化区域への編入希望箇所として県に回答した。呉羽駅周辺などのような地域の拠点となる新たなまちの姿を、他の鉄道駅周辺においても官民連携により形成していくことで、持続可能な都市の実現につなげたい。（活力都市創造部長）

【質問項目】

- ▼富山市民球場アルペンスタジアム
- ▼鉄道駅周辺のまちづくり
- ▼富山駅周辺整備
- ▼災害発生時の消防局の対応



6年3月22日から供用を開始した呉羽駅北口改札

退職自衛官等の市内企業就職支援

久保 大憲（自由民主党）



問 1人でも多くの退職自衛官等に本市や本市の企業を選んでもらえるように取り組むべきと考えるが、見解は。

答 退職される自衛官の方に市内企業に就職していただくことは、即戦力となる優秀な人材を本市に呼び込むことにつながるため、取り組みの一つとして、例えば、県内外の自衛官の方々に対し、本市の強みである子育て環境や教育など、都市の総合力をPRすることも考えられる。まずは「自衛隊富山地方協力本部」と連携し、自衛官の皆さまのニーズの把握や情報発信の方法も含め、検討していきたい。（商工労働部長）

【質問項目】

▼人事評価の活用 ▼市職員の予備自衛官補試験の受験勧奨
▼退職自衛官等の職員採用 ▼退職自衛官等の市内企業就職支援

介護保険、障害者施策

吉田 修（日本共産党）



問 住宅改修の費用および福祉用具等の支給の償還払いについて、受領委任払いに変更することを求めるが、見解は。

答 介護保険制度においては、「住宅改修費」および「福祉用具購入費」は、原則償還払いで支給することとなっている。また、受領委任払いの導入には、介護保険事務処理システムの改修が必要になることなどから、現在本市では償還払いとしているが、今後、他都市の状況などを参考に調査・研究していきたいと考えている。

（福祉保健部長）

【質問項目】

▼介護保険、障害者施策 ▼小中学校の学校給食費の無償化
▼生活保護の「裁判」

公立保育所の民営化

橋本 雅雄（会派 誠政）



問 今後の市立保育施設の民営化について、市長の考えは。

答 民営化で延長保育や休日保育を実施する施設が増えるなど保育サービスの拡充が図られた。本市の市立施設の割合は33.1%で中核市平均の17.6%より高いことから、「民営化対象保育所選定基準」を満たし事業を安定的に継続して運営できる施設があれば、今後も民営化を進めたいと考えている。引き続き、保育施設を利用する子どもと保護者に配慮し「こどもまんなか社会」実現の視点で保育内容、環境のより一層の充実に向け取り組みたい。（市長）

【質問項目】

▼公立保育所の民営化

富山市の福祉避難所

澤田 和秀（自由民主党）



問 一般の避難所と福祉避難所の開設定義は。

答 本市では、一般の避難所は市災害対策本部が開設を決定し、開設を担当する市職員に指示した上で市職員が開設する。一般の避難所に避難した避難者のうち高齢者や障害者等の要配慮者を受け入れる福祉避難所については、あらかじめ福祉避難所の設置運営に関する協定を締結した施設のうち、災害時に市災害対策本部から福祉避難所開設を要請し、施設の被災状況等を踏まえ、受け入れを了承いただいた施設に要配慮者とその家族を移送する。（防災危機管理部長）

【質問項目】

▼大沢野・細入地域におけるコミュニティバスとシルバータクシーの運行
▼富山市の福祉避難所

本市における公共交通機関

藤田 克樹（自由民主党）



問 JR高山本線的全線開通90周年は大事な節目であると考えているが、見解は。

答 高山本線は、本市が進める「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」において重要な公共交通軸として位置付けており、私自身も大変思い出深く愛着のある路線である。本市では全線開通90周年にあわせ、高山本線強化促進同盟会が企画される記念事業と連携し、富山駅での記念式典や、沿線駅での高山本線に関する企画展示などを開催することで、沿線のマイレール意識の醸成を図り、高山本線の活性化につなげたいと考えている。（市長）

【質問項目】

▼富山市の農家が作ったお米で元気に育ってね！キャンペーン
▼本市における公共交通機関 ▼本市における人口推移と財政
▼本市への移住

令和6年度介護報酬改定

東 篤（立憲民主市民の会）



問 介護報酬改定後、経営が厳しくなった訪問介護事業者が事業を継続できるよう、本市として何らかの助成をする、あるいは県や国に助成を要請するべきでは。

答 今回の報酬改定には一定の配慮がなされていると考えている。改定での訪問介護事業者への影響は一概に言えないこともあり、新しい報酬単価でのサービス提供が始まっていない今の時点では、市独自の助成制度を設けることは考えていない。今後、介護報酬が地域やサービスの実態とかけ離れた場合等は、適切な報酬が設定されるよう国へ要望していきたい。（福祉保健部長）

【質問項目】

▼スマートシティ政策の推進 ▼防災対策の強化
▼令和6年度介護報酬改定

家庭ごみ有料化検討事業

江西 照康（自由民主党）



問 家庭ごみ有料化検討事業について、市民への説明が不足していると考えるが、市長の見解は。

答 ごみを処理するには多額の費用がかかることや、少しでもごみを減量化して将来世代に負担を残さないようにすることは私も共通の認識である。有料化は、私たちが排出しているごみの処理経費の一部を、私たちが負担しようということが根本にあり、このことを認識して議論していきたい。また、生活弱者の方への配慮など、市民の皆さんに丁寧に説明して理解していただくことが大事であると考えている。（市長）

【質問項目】

▼市営住宅のLED化 ▼家庭ごみ有料化検討事業

**令和6年4月スタート
プラスチックの分け方・出し方が
変わります！**

現在

資源物（リサイクルするもの）
プラスチック製容器包装 月4回

ペットボトルのキャップやラベル、
食品容器、お菓子の袋、紙のパック等

燃やせるごみ
プラスチック製品 週2回

燃やせるごみの
プラスチック製品

プラスチック製のバケツ、蓋、コップ、
食品保存容器、スプーン、ハンカチ等のプラスチック製品

令和6年4月～

資源物（リサイクルするもの）
プラスチック資源 月4回

商品を入れてあったもの（容器）やもんであった（包装）
で、プラスチック製のもの

全てがプラスチック製であり、一面の長さが5.0cm以上の
の製品（プラスチック製品）

まとめて透明か半透明の袋に
入れてお出ください。

・汚れが付着しているものは
「燃やせるごみ」へ
・金属が付属しているものは
「燃やせないごみ」へ

ご協力
お願いします！

お問い合わせ先
富山市環境センター 管理課 429-5017
富山市東山637
インターネットで、詳しく検索もすることができます。富山市環境センター 検索

富山市環境センター
富山市東山637
インターネットで、詳しく検索もすることができます。富山市環境センター 検索

ごみ減量化施策の1つとして、6年4月よりプラスチック資源一括回収がスタート

災害時におけるガソリンスタンドの役割と災害協定

大島 満（政策フォーラム32）



問 災害時に石油燃料の優先的供給を受けるための災害協定の締結状況および市独自の災害協定締結の予定は。

答 県は県石油商業組合と、県下市町村にも効果が及ぶ協定を締結しており、石油連盟とも重要施設への燃料供給に関する覚書を締結している。令和6年能登半島地震では県石油業協同組合と連携し避難所9カ所に灯油を配達したが、さらなる大規模災害の発生時に一般利用者に優先して石油燃料等の供給を受ける必要が生じることも考えられるため、市独自の新たな協定の締結も検討していきたい。（防災危機管理部長）

【質問項目】

▼災害時におけるガソリンスタンドの役割と災害協定
▼税務事務等 ▼本市の芸術文化

令和6年能登半島地震の被害対策および今後の防災対策

赤星 ゆかり（日本共産党）



問 災害時のトイレ問題は命と健康に直結する。バリアフリーで洋式・水洗の個室を備えたトイレトレーラーの導入を提案するが、見解は。

答 市では、簡易トイレの備蓄やマンホールトイレの整備を進めつつ、家庭用備蓄品として簡易トイレの重要性を啓発する等、自助・共助の取り組みも含めたトイレ確保対策を進めている。トイレトレーラーは、被災地でニーズが高く有効活用されており本市のトイレ確保対策の一つの選択肢として他の対策とのバランスにも配慮して調査・研究していきたい。（防災危機管理部長）

【質問項目】

▼令和6年能登半島地震の被害対策および今後の防災対策
▼学校給食 ▼南富山駅周辺のまちづくり

請願・陳情（市政への要望・意見）の提出

請願書（議員の紹介あり）・陳情書（議員の紹介なし）を提出される方は、次の要領でお出ください。

- ① 請願・陳情の趣旨を具体的に記載してください。
- ② 提出年月日、提出者の住所および氏名（法人の場合は名称と所在地、代表者名）を記載し、署名または記名押印の上、議長宛てに提出してください（署名の場合は押印が不要です）。
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。
- ④ 定例会開会日の正午までに提出されたものを、その定例会で審査・処理しています。

【お問い合わせ】 議会事務局 議事調査課
TEL 443-2158

※議員の連絡先は、富山市議会のホームページでご覧いただけます。

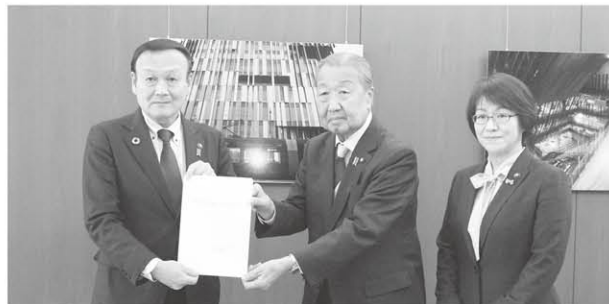
請願（陳情）の書式例

〈表紙〉	〈本文〉
〇〇〇に関する請願書 （陳情書）	〇〇〇に関する請願 （陳情）
紹介議員 （陳情書には不要）	1：趣旨 2：理由
〇〇〇〇 （署名または記名押印）	年 月 日 請願（陳情）者 住所 氏名
	（宛先）富山市議会議長

令和6年能登半島地震への対応に関する要望書を 市議会から市長へ提出しました

富山市議会災害対策会議（1月4日、1月11日開催）において、令和6年能登半島地震の対応等について、各会派から寄せられた要望を取りまとめ、1月12日に亀裂や隆起、破損などが見られる道路の早期補修などに関する緊急要望書を市長に提出しました。

また、自主防災組織が主体となって避難所の開設を担えるような体制の整備の検討など中長期内容を含む16項目について、2月16日に市長に要望書を提出しました。



市長へ要望書を提出する様子（2月16日）

ケーブルテレビでの本会議の生放送

本会議の開催日は、ケーブルテレビ富山および上婦負ケーブルテレビで生放送をご覧いただけます。
ただし、上婦負ケーブルテレビでの放送は、都合により、録画放送になる場合があります。

インターネットでの本会議の 生中継および録画中継



インターネットの録画中継は、各本会議終了後、おおむね4日後（土・日および祝日を除く）からご覧いただけます。

なお、編集作業等により公開が遅れることがあります。

本会議の会議録



本会議の会議録は、富山市議会のホームページでご覧いただけます。

委員会・諸会議の議事録等も、ホームページに掲載しています。

6年3月定例会の会議録は、6月上旬に掲載する予定です。なお、会議録の冊子は、市役所東館3階の市政情報コーナーで閲覧することができます。

No.67（2年12月定例会号）からは、とやま市議会だよりのテキストデータ（音声読み上げ対応）版の公開もしています。



次回6月定例会の日程（予定）

6月6日	本会議（提案理由説明ほか）
6月10日	本会議（一般質問）
6月13日	本会議（一般質問）
6月17日	本会議（一般質問）
6月18日	本会議（一般質問） 予算決算委員会（前期全体会）
6月19日	予算決算委員会分科会（経済環境） ・ 経済環境委員会
6月20日	予算決算委員会分科会（厚生） ・ 厚生委員会
6月21日	予算決算委員会分科会（建設） ・ 建設委員会
6月24日	予算決算委員会分科会（総務文教） ・ 総務文教委員会
6月25日	予算決算委員会（後期全体会）
6月27日	本会議（委員長報告・質疑・討論・採決ほか）

傍聴の際の注意事項

- ・ 私語や飲食など会議の妨害になることはしないでください。
- ・ 拍手など可否の表明はしないでください。
- ・ 写真の撮影、音声の録音はしないでください。
- ・ 携帯電話の電源はお切りください。
- ・ 帽子、コート、マフラーの類は着用しないでください。

※日程については予定となっております。
最新の日程や傍聴の取り扱いにつきましては、
富山市議会のホームページ等でご確認ください。

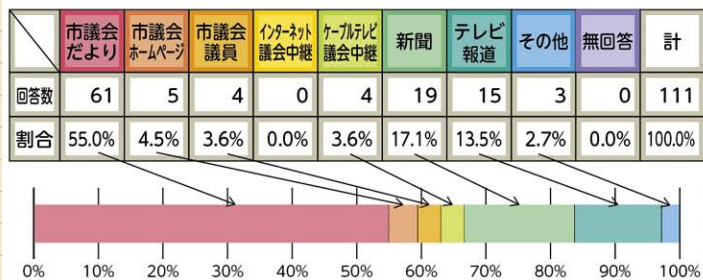
とやま市議会だより アンケートの結果

ご協力いただき、ありがとうございました。

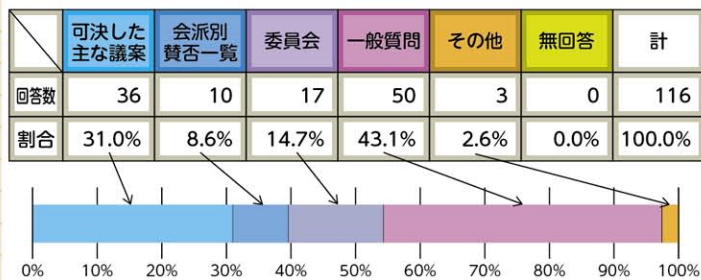
市民の皆さまに、より親しまれる「とやま市議会だより」にするため、前号でアンケートを実施し、65人の方からご回答いただきました。その結果の概要について、お知らせします。

※プレゼントは、厳正な抽選のうえ、当選された方へ発送いたしました。

問1 富山市議会の活動などの情報はどこから入手していますか。(複数回答可)



問2 「とやま市議会だより」で関心のある記事は何ですか。(複数回答可)



問3 「とやま市議会だより」について、ご意見・ご要望や読んでみたい記事等ご自由にお書きください。

- 一般質問のページが見やすいレイアウトでとても良かった。全ページをカラーにするのは難しいと思うが、表紙の立山よりも議員の顔写真をカラーにしてほしい。
- もっと若い世代にも市政に関心を持ってもらうためにも、御誌内容に漫画風刺も交えた記事の紹介などを取り込んでみたらどうか。
- 細かい内容も知りたい。
- ペーパーレスの時代かつ市議会だよりを紙で作成するとお金がかかるのでネットのみで掲載したら良いのでは。
- 分かりやすいし、読みやすい。
- 活発なさまざまな意見を見やすくまとめていただきありがとうございます。
- 市議会だよりを読み始めた人向けの分かりやすい導入のページがあると助かる。
- 気になる項目もインターネットで閲覧できるので良い。
- 議員の方の見解が読めるので興味深い。
- 議員の顔も分かり、身近な存在に感じられた。
- 広報とやまの藤井市長のコラムのようなコーナーを市議会だよりにも設け、毎号市議がマイプロフィールなどを紹介くださると、市民がより親近感を持てるのではないと思う。

- 議員一人ひとりどんな人なのか知ることができる記事があれば、もっと議会に興味を持てるのではないと思う。
- 育休中の保育継続利用の一般質問の記事がありうれしかった。
- 一般質問、質問者の顔写真付きで誰が何を質問し、それにどう回答されたかが見やすく分かりやすい。全体に紙面も見やすく、読む気になる。
- 詳しく書いていただいているので、興味深く読んでいる。
- 一般質問の頁数を増やしてほしい。
- 高齢者が読んでいます。字を少し大きくするべき。
- 一般質問が分かるのでありがたい。議員の方々の個別の傾向がうかがえる。
- 高校生から関心を持てる市議会だよりになるよう、議員の信条、趣味の紹介をしてこの人のところへ行ってみたいと思わせるような記事を入れるべき。
- 市民の声も取り上げてほしい。
- 行政視察報告をより具体的に。概要を書いたり感想を加えて充実させてほしい。

◎期間：令和6年2月1日～3月8日

◎件数：65件（ホームページ47件、Eメール2件、FAX2件、郵便14件）

◎年齢：20代 4.6%、30代 18.5%、40代 15.4%、50代 15.4%、60代 21.5%、70代 15.4%、80代 4.6%、無回答 4.6%

※ご意見等については、類似したものをまとめ、要約して掲載しております。市民の皆さまから、このほかにもたくさんのご意見・ご要望をいただきました。お寄せいただいたご意見は、今後のとやま市議会だよりの企画・編集の参考にさせていただきます。



新たな議会報編集委員会委員

編集後記

3月定例会号より、議会報編集委員会のメンバーが新しくなり、初めての「とやま市議会だより」の発行です。6年度も、議会の活動をもっと身近にお届けできるよう、皆さまのご意見を大切に、市民目線での改善に努めてまいります。



議会報編集委員長
藤田 克樹

次号（No.82）は8月20日発行の予定です。なお、8月上旬ごろに、ウェブ速報版を富山市議会ホームページにて公開予定です。